

(社)日本労働安全衛生コンサルタント会

支部ニュース

(第 22 号)

2015 年 10 月 1 日

(社)日本労働安全衛生コンサルタント会

新潟 支部

発行人 支部長 五十嵐 俊彦

〒950-0053 新潟市東区宝町3-1 宝ハイツ605

鈴木労働安全衛生コンサルタント事務所内

TEL 025-270-3619

FAX 025-270-4440

E-mail:dn7y-szk@asahi-net.or.jp

労働災害の現状と今後の対策



新潟労働局労働基準部
健康安全課長 吉岡 健一

本年4月1日付けで新潟労働局労働基準部健康安全課長を拝命しました吉岡と申します。

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会新潟支部並びに会員の皆様におかれましては、日頃より、労働災害防止を始めとする労働安全衛生行政の各種施策に、格別のご理解とご協力をいただいております。この場をお借りして感謝を申し上げます。

労働災害の発生状況について申し上げますと、平成26年の労働災害が全国的には増加しているなかで、新潟県内の労働災害件数は2,467件と、平成25年より6%も減少しました。

また、今年の労働災害件数は、7月末日時点の速報値で、1,115件と、前年同期と比較して6%減少しており、減少傾向を維持しています。事故の型別に見ると、転倒災害は271件で前年同期(333件)より19%も減少しているところですが、1月から展開している「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」について、皆様のご理解とご協力をいただき、特に冬季の転倒災害が減少した結果であると考えています。

一方、第12次労働災害防止推進計画では、5年間で労働災害を15%減少させるとの目標を掲げているところであり、目標達成のためには、より一層の取り組みが必要となります。

最近の安全衛生行政の動向について、ご紹介いたします。

労働災害の防止対策については、危険のおそれのある作業等に注目した規制の強化や新設が行われています。足場

からの墜落災害防止のための規制強化については7月1日より施行されており、「ロープ高所作業における危険の防止」に係る規制(新設)は来年1月1日より施行される予定です。

労働衛生に係る法令改正事項については、12月1日より、ストレスチェック制度が創設されます。7月に「ストレスチェック制度 簡単! 導入マニュアル」が公開されており、円滑な施行に向けて、局署で様々な機会を捉えて周知に努めているところでありますが、各事業場においては、遅くとも来年11月30日までに、ストレスチェックを実施していただくことが必要になります。

また、来年6月1日より、化学物質のリスクアセスメントが義務化されます。一定の危険性・有害性が確認されている化学物質(640物質)による危険性又は有害性等の調査(リスクアセスメント)の実施が事業者の義務となり、労働安全衛生法第57条により譲渡又は提供の際に容器又は包装に名称等の表示が義務付けられる物の範囲が拡大されます。

今年創設された安全衛生優

良企業認定制度につきまして、7月末日時点、全国では2企業(鳥取、岐阜)が認定されていると聞いています。新潟県内企業の申請はありません。県内には全国に誇れる素晴らしい企業がたくさんあると思います。これらの企業に認定を受けていただき、地域の安全衛生水準の向上を牽引していただきたいと考えています。コンサルタントの皆様には、関係事業場への認定制度の周知と申請の勧奨にご協力をお願いいたします。

新潟労働局健康安全課長として半年ほど経ちますが、産業安全と労働衛生に係る仕事について、本当に守備範囲が広く、知ろうとすればどこまでも奥が深いということも日々、再認識しているところです。新潟労働局並びに各労働基準監督署だけでは、情報を必要とする事業場、事業者、労働者に的確な情報をお伝えすることは非常に難しいと感じています。お願いばかりで恐縮ですが、関係法令等の周知・広報を始めとする関係事業場における安全衛生対策の推進につきまして、皆様のお力添えをお願いいたします。

支部長挨拶

ISOマネジメントシステム(MS)規格の改正動向

支部長

労働衛生コンサルタント
五十嵐 俊彦



規格化の意義は、法令を含む規則の遵守の明確化と、PDCAの歯車を廻す「How」の提供にある。それ故に、私は、安全衛生委員会や安全衛生大会の席上で、このMSを分かり易く説明してきた。今年度、この規格に有意義な「改善」があり、その要旨を紹介する。

1. 規格項番の統一化：ISO Oは規格でありながら、ISO9001：2008、ISO14001：2004、OHS&Sは規格内の項

番が異なり、不適合状態であった。2015年度にISO9001とISO14001が共通の項番内容として統一され、規格の理解と監査においてメリットをもたらす。Microsoft Windows XPからの改悪Version upと同じ轍を踏まなかったことに感謝する。統一項番は、1. 適用範囲、2. 引用規格、3. 用語・定義、4. 組織、5. リーダーシップ、6. 計画、7. 支援、8. 運用、9. パフォーマンス評価、10. 改善である。利点は、実際の事業プロセスとMSプロセスを同調させ、その有効性に踏み込んだ評価である。環境MSで言えば、狭義の電気・紙・リサイクルだけでなく、商品のライフサイクル・企画・開発・購買・製造・施設・人事・監査・戦略策定プロセス管理を含む本来業務に落とし込んだ活動に結びつけることが要求される。見栄でなく実際の事業性が問われている。

2. 労働安全衛生マネジメントシステム規格OHS&S(OHSAS18001:2007)のISO規格(ISO45001:2016)：国家間の労働環境の相違により労働関連のISO規格化は不可能とされてきた。が、国

家間の障壁を超えた多国籍企業とブロック経済的大国別戦略的経済連携協定により、OHS&S発行15年後にISO規格に昇格となる。ILOが公認したことは大変に意義深い。規格項番も前述同様に共通となり、利便性が向上した。リスクマネジメントの対象は、本MSの遵守に関するリスクと危険源に関するリスクとなっている。また、事業者には、労働者の参画における懲戒措置からの保護が求められ、国内労働法に準ずることが求められる。

「改善」をうたい文句とするISO規格が、前述のような規格自身の「改善」をようやく成し得た事実は、規格による改善の困難さを暗示する。

労働安全・衛生
コンサルタントの視点

『下戸(酒の弱い人)のひとり語』

安全衛生相談センター
所長
労働安全コンサルタント
但田(ただ) 沈



建設工事現場では、「昨日は深酒をして二日酔い気味だけど、ひと汗かけば大丈夫」と工事の元請社員も協力施工会社の職人さんも、よく言っているのを聞きます。作業開始前のミーティングで体調管理が行われていますが、よほど足元がふらついている状態でなければ作業ストップがかからず、後から考えると、その時に作業をさせない配慮をして置けば良かったと思える重篤な災害の事例を紹介したいと思います。『心と体の健康のために・・・』某作業場の安全教育資料より抜粋

新潟のある建築現場で死亡災害が発生しました。ビル建設のための地下掘削工事で、タテ、ヨコ二十メートル位の面積の土を五メートルほど掘り下げ、ブルドーザーで土を集め、そこからクレーン(クラムシエル)で土を地上に運び出す作業をしていました。掘削作業に並行して、周囲に排水用パイプを敷設する作業



が行われ、ブルドーザーやクラムシエルの稼働している中で、一人の作業員が排水用パイプを担ぎ、掘削で上下しているクラムシエルの作業範囲を横断しようとした時、クラムシエルの先端に付いている土をつかむバケットが降りてきたのです。速度が速いので逃げる間もなく、その下敷きになってしまいました。

前日のミーティングの時も、掘削中の配管作業(ウエルポイント)は掘削箇所を通らず、周囲の壁に沿って配管パイプを運搬することが強調されていたのです。それにもかかわらず、掘削中の場所を近道横断してしまったのでしょうか。

調査したところ、被災者は長男の高専の合格通知を受け、前日に祝酒を一人で相当量飲んだとのこと、二日酔いに近い状態で出勤して来たようです。これではミートイング時の作業方法の内容も忘れ、危険予知する力の無いまま行動してしまっただけと思われま

す。作業前の体調管理はリーダーの健康管理や作業仲間の相互注意も必要ですが、究極の所は自分で自分の健康状態を良く知った上で仕事をする以外にありません。「健康と安全は両輪のごとし」と言われますが、心身ともに健康な状態で仕事をしたいものです。

この災害は45年も前の事例ですが、後に鉄筋コンクリートの煙突を作っている職人が「我々は危ない作業をしているので作業の前日は酒は飲まない」と聞きました。現場で働くプロは作業日には絶対、二日酔いで来ないし、万全の体調で臨むのは当たり前なのです。

インフラ長寿命化社会の到来に対応する 安全衛生管理

CSP労働安全コンサルタント
CIH労働衛生コンサルタント
(元新潟支部長)

田村 三樹夫



平成25年11月に「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」が取りまとめた「インフラ長寿命化基本計画」により、我が国では昭和39年に開催された東京オリンピックと同時に整備された首都高速1号線など、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に高齢化することが指摘されています。例えば、今後20年で、建設後50年以上経過する道路橋(橋長2m以上)の割合は現在の約16%から約65%となるなど、高齢化の割合は加速度的に増加することから、実感があります。そして、今後約800兆円に及ぶインフラストックの高齢化に的確に対応する必要があります。

と報告しています。

また、厚生労働省から平成26年5月30日付けで出された通達(基安発第0530第1号)で、橋梁等建設物に塗布された塗料の剥離等作業を行う発注者に対して、塗布されている塗料中の鉛やクロム等の有害な化学物質の有無について把握している情報を施工者に伝える等の配慮が求められました。なお、現在でも錆び止め等の目的で鉛を数%〜十数%程度含有したり、クロムを含有する塗料が塗布された橋梁等建設物が多数あることから、これら作業を行う施工者は、鉛作業主任者の選任による適切な作業指揮の実施等鉛中毒予防規則等関係法令を順守し、適切なばく露防止対策を講じる必要があると指導されています。

そのような中で、折しも、本年2月に東京都内首都高速道路の高架下(橋桁)の塗装工事中に、吊り足場で火災が発生し、2人が死亡し11人が負傷する重大災害が発生したことは記憶に新しいところで、原因は作業者34人が電動工具やシンナーを用いて古い塗装を剥がす等の作業をして

いたところ、研磨で出た火花が点火源となり、シンナーなどに引火して足場のシートに燃え広がったと報告されています。

しかし、このような事案は労働安全衛生コンサルタントがいれば、当然想定できることであり、事前に適切な対策さえ取られていれば起こりえない事故・災害です。私達(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会新潟支部会員は、現場作業所における安全衛生管理体制の構築や安全作業手順書の作成及びリスクアセスメントの実施、更に安全衛生教育の実施等を通じて、安全衛生管理の面で、必ずや事業者の皆様のお役に立てることと確信いたしております。

私にとっての生涯スポーツ

労働衛生コンサルタント

相馬 英昭



皆さんは生涯スポーツをお持ちですか?

生涯スポーツとは、その生涯を通じて健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」スポーツのことです。

子供達であれば、健全育成や人格形成に寄与し、地域コミュニティの形成にも役立ちます。高齢者であれば、生き甲斐を持ち元気に老後を送ることも期待できます。また、コミュニケーションの場が広がるため、普段の生活で触れ合う人とは違う年代や生活の人達と交流することができ、充実した生活を送ることができます。健康で少しでも病気になる人を減らすことができれば、それだけでも医療費を減らすことが可能です。

社会に出てからは、ストレス解消の一つの手段としてもスポーツの効果はとても大切です。前向きな気持ちにさせてくれ、打ち込んでいるときはストレスを忘れることができます。適度な運動により、基礎代謝を上げ体重を落とし筋肉を付けることで、生活習慣病を予防・改善する効果もあります。

生涯スポーツとしてどのようなスポーツがあるでしょう。ジョギング、ウォーキング、ゴルフ、水泳、卓球など様々なスポーツが思い浮かびます。私の場合は、高校時代から続けているサッカーになります。競技スポーツのイメージが強いかもしれませんが、四十歳以上、五十歳以上などとカテゴリー分けされ、それぞれに県大会や全国大会もあり各年代で楽しめるスポーツです。高校や二十代では、ひたすら勝利するために厳しい練習をしてきましたが、シニア年代になると、プレーを楽しむ余裕もできてきました。以前より動けなくなっても頭を使い考えることで一歩先、二歩先を読み、運動量をカバーできるようにもなったりします。これからも全国大会出場を目標としサッカーを続けていきたいのですが、やはり無理をすると膝や腰に負担がかかり整形外科のお世話になることもあります。怪我をして医療費削減の妨げにならないよう注意したいと思っはいるのですが、自分の体とよく相談しながら続けて行きたいと思もし運動不足を気にされて

いる方がいらっしやれば、是非、自分の好きなペースで続けられ、生涯を通じて楽しめるスポーツを見つけてみませんか。心身ともに健康的な生活を送れると思います。

「医師である衛生管理者」について思う

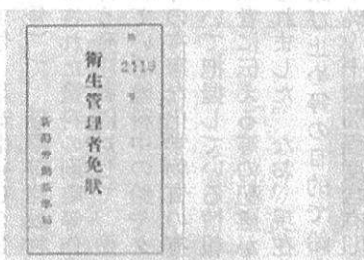
労働衛生コンサルタント

西村 義孝



表題の一見奇妙な職名は、敗戦後の1947年に労働基準法が成立した時に出来たもので、1972年に労働安全衛生法が成立し、産業医と変更されるまで四半世紀にわたって存続したものでした。この名称の由来は労働基準法の条文により製造業及びそのほかの事業所で一定の人数以上の労働者を使用する場合には、

医師である衛生管理者と通常の衛生管理者双方の選任を必要とするという我が国独自のものです。この役職を当初から産業医としなかったのは、欧米では医科大学卒業後の職業医学教育を要件としていることの速慮と、当時要件を満たした医師のみでは必要数を求め難かったためと思われるます。役職名はともあれ事業所内の序列は労働衛生責任者の指揮統括下にあり、事業者との連絡において医師としての独立性、専門性が必ずしも保たれず医師にとつて不満であったと言われています。私はこの時期に数年間就任しております理解ができることであります。



写真に示したものは当時の免許証であるが、「医師である・・・」という型式は用意されていなかったと思ひます。



25年後の1972年に当時の労働情勢に対応して新たに制定された労働安全衛生法により産業医という名称が法律上の制度となり、職務内容も安衛則により明確となったが、就任に要する教育要件等の定めはありませんでした。同時に労働安全衛生コンサルタント制度が制定され、これは心の動く資格でした。その後1988年の改正で、産業医のうちから事業者が指名したものが衛生委員会の構成員になることになり活動の質と範囲の広がりを得ました。

1996年には大幅な労働安全衛生法の改正があり、産業医は一定の要件を備えることとなり、産業医による労働者の健康に関する事業者への勧告権も明文化されました。これは労働者の高齢化と産業構造の変化等による脳・心臓疾患、ストレス・

過労死などに対応したものと考えられます。長い年月を要したが、行政と産業医学関係者の協力により「医師である衛生管理者」の問題は名実ともに解決しました。

しかし時代を経て、2015年の今年から労働者のストレスチェックの実施が定められ、医師と共に守秘義務を負う「医師でない実施者」の協力も必要となりました。このような健康診断制度の複雑化にともない、安衛法の中にストレスチェック専門職が制度化する時代も来ると考えています。

OSHMSのISO化

労働安全コンサルタント

藤巻 一光



労働安全衛生マネジメントシステム(以下OSHMS)が来秋、ISO45001として規格化される予定です。

ISOの知名度により安全衛生の重要性が再認識されて、9001や14001の時の様な認証取得のブームを作る端緒になればと期待しています。

嘗てOSHMSを指導した事業場でキックオフ前に管理職全員に導入の賛否をアンケート調査したことがあります。その中に次のような意見がありました。「運用コスト等を別にすれば、手順化・文書化及び記録化は作業の曖昧化を防止し、全ての従業員のレベルアップに繋がると思います。身近な例ではISO9001の認証取得によって、当社の現場作業員が大幅にレベルアップしたと考えています。そのベースがあつたからこそ製品の高付加価値化、他社との差別化に対応できて来たものと感じています。それ以前は殆どが指示待ちであつたと思います。安全においてもOSHMSの導入によって現場作業員の自覚を促し、労災の減少に繋がると思っています。」

の結果、以前は無災害を一年以上持続したことのない事業場が取組み開始から休業災害は五年間、不休災害も二年間、全く発生させない状況を生み出しました。

MSの特徴はPDCAを回し、継続的な改善を図るところにあります。品質も環境も安全もその手法は共通です。人や組織を管理する上で最も効果的な手法であることが、実績で証明されたと考えています。

同様の手法がアルコール依存症や依存症予備軍の治療に利用されていることを先日、コンサルタント会の労働衛生研修で知りました。例えば依存症予備軍の人の減酒に対しては、①自分の飲酒の評価(現状把握) ②飲酒に関する目標設定P、③毎日の飲酒を記録D、④医師によるカウンセリングC、Aの手順で介入するようです。現状把握、方針・目標の設定、活動の実施と記録、結果のチェックと評価などMSの要素が全て含まれています。医療分野でも、人を動かし目的の成果を挙げるためにMSの手法は有効なようです。本質安全化や物的対策が進

み、重篤災害がある程度減つて、その数百倍もの軽微な災害の防止にも真剣に取組む必要のある昨今の日本では、ソフト面の対策であるISO化は良いタイミングだろうと感じています。

手順化・文書化などシステム構築に手間のかかるOSHMSは大企業向きで、中小企業には難しいという話も耳にしますが、ISO9001でもシステムのスリム化が謳われ、かなりの中小企業でも導入しているように、安全衛生分野でも重くならないシステムを考え、実効を挙げる支援こそ、今後のコンサルタントの使命ではないかと思えます。

海外安全パトロール

労働安全コンサルタント

佐々木 明



前社に勤務時、JAICAの絡みで、セネガル共和国内の自社工事の安全パトロールを実施したことがあります。工事は飲料水の確保に困難な地方の住民に飲用水を供給するもので、工事概要は、水源井掘削・高架水槽建設・ソーラシステム給水施設建設・PVC配管でした。(写真1、写真2)

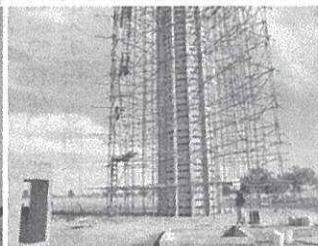


写真2 施工中

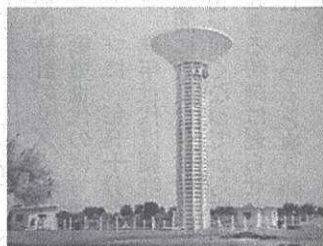


写真1 竣工

現地は乾期と雨期がハッキリしており、雨期では道路や地山状態が極めて悪くなるため、乾期にしか作業できません。広がるサバンナに大きな夕陽が大地

を沈むさまは感動ものですが、山・川・樹林がないので砂利や砂は採れず、木材も生産されません。輸入に頼っています。足場を組むために不可欠な単管パイプ・製材品は高価なものです。機械といえるものは、コンクリートミキサー(0.3m³位)とウインチ(1.5位)を組合せ同一のエンジン(10PS)で駆動するもの1台だけ、あとは自動車のみです。

クレーンはないので高架水槽建設でも、人力で先端に滑車を取付けた6mの単管を垂直に建て、これを支柱にしてワイヤーで吊り上げ、単管を組み足場板を敷いて組上げその段を完成すると次の段を組んでいく、これの繰り返しで高くまで足場を組みます。彼らはまるで猿のように身軽で機敏な動きでサーカスを見ているよう。むしろ安全帯などはしていません。

コンパネ型枠を組み、配筋し、地上で練った水密コンクリートをバケツ(40ℓ)に入れウインチで吊り上げ、流し込み、型枠の隅々まで行き渡らせるため丹念に突つつく。品質(水密性と強度)、出来形を厳しく要求されているため手数のかかる作業をていねいに行っていました。作業員の服装は自前ですが、

腕・足が露出するもの、裾・袖が引つ掛り易いものは無く、暑い中全員が保護帽を着用しているのには感心しました。(日本とは内装が異なる)

施設・行動点検の後、全員を集めて簡単な安全教育を実施しました。日本から持参したKYイラストを用いた危険予知訓練は好評でした。続けて実際に現場での「危険箇所洗い出し」その対策」を課題に出しましたが十分に理解しておりこれには驚きました。

作業員の安全意識や意欲は高く、安全教育では充実感を覚えたものでした。



睡眠と健康

労働衛生コンサルタント
渡邊 路子



みなさま、睡眠は十分に取れていますか？私は、日々の業務の傍ら、睡眠をテーマに研究活動を行っております。今回は、睡眠について触れたいと思います。

睡眠には心身の疲労を回復する働きがあります。私達はぐっすり眠れた時、疲れがとれたと感じることが多いと思います。近年、睡眠の研究は進み、睡眠時間の不足や睡眠の質の悪化は生活習慣病のリスクとなり、不眠のある中年男性が4年後に高血圧になるリスクは不眠のない中年男性の約2倍、8年後に糖尿病を発症するリスクは2〜3倍になるといわれています。また、不眠がうつ病などの心の病に繋がることも明らかになっています。その他にも、睡眠不足や睡眠障害は、作業効率の低下や産業事故を引き起こす可能

性が指摘されています。睡眠は私達にとって重要な役割を果たしているといえます。

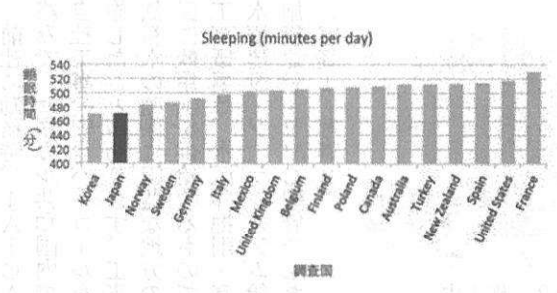
しかしながら、国民生活時間調査によると、国民全体の平均睡眠時間は1970年以降一貫して減少傾向にあり、特に40代50代で最も短くなっています。世界的にみても、日本人の睡眠時間は短く、OECDの調査では調査国18カ国中2番目に短いという結果でした。(図参照)労働衛生では、長時間労働からくる睡眠時間の短縮による、脳血管疾患や心疾患や精神疾患との関連も大きな問題となっています。

このような中、昨年、厚生労働省により、「健康づくりのための睡眠指針2014」が策定され、睡眠の重要性が高まっています。以下にその内容を記します。これを機会にみなさまにも、労働衛生対策の一助として、睡眠について関心を持っていただければ幸いです。

ろの健康に重要です。

5. 年齢や季節に応じて、昼間の眠気で困らない程度の睡眠を。
6. 良い睡眠のためには、環境づくりも重要です。
7. 若年世代は夜更かし避けて、体内時計のリズムを保つ。
8. 勤労世代の疲労回復・能率アップに、毎日十分な睡眠を。
9. 熟年世代は朝晩メリハリ、昼間に適度な運動で良い睡眠。
10. 眠くなつてから寢床に入り起きる時刻は遅らせない。
11. いつもと違う睡眠には、要注意。
12. 眠れない、その苦しみをかかえずに、専門家に相談を。

Source: Secretariat estimates based on national and multinational time-use surveys (2006 where available).

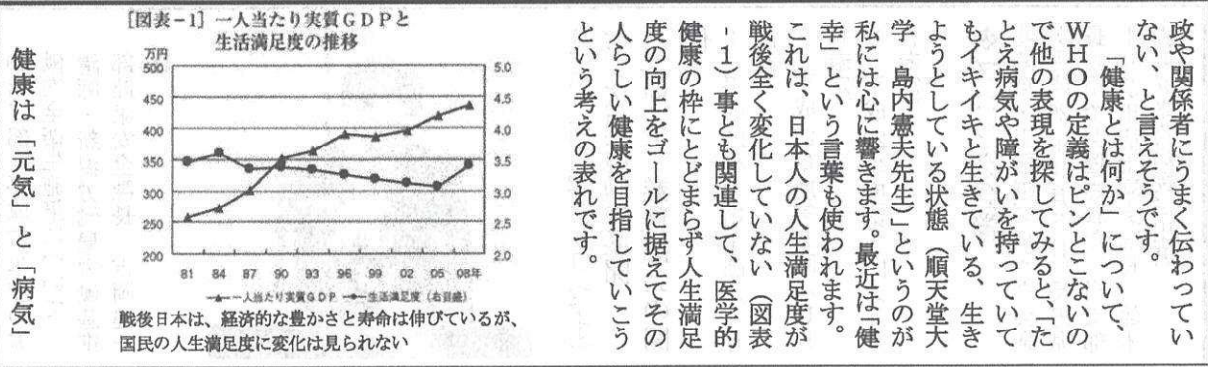


「健康経営アドバイザー」資格創設に思うこと
労働衛生コンサルタント
鈴木 美和

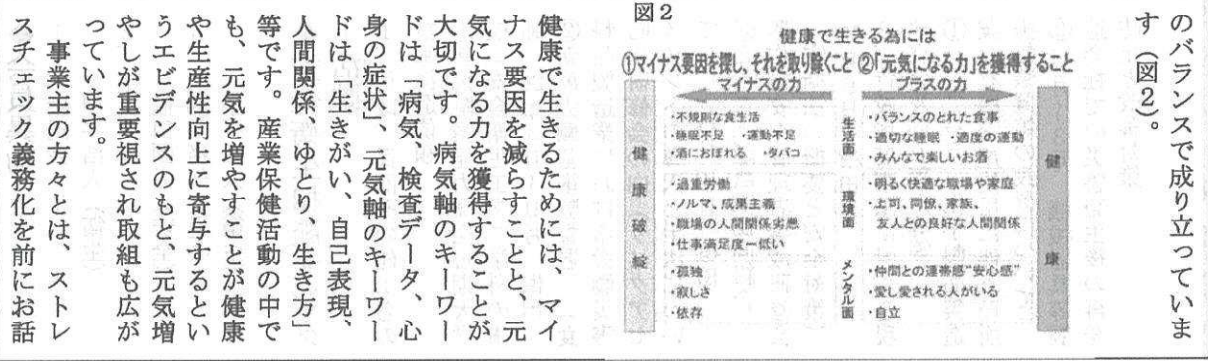


政府は中小企業の健康経営を推進するために「健康経営アドバイザー」の資格を創設すると発表しました。資格者を中小企業に派遣し、社員の健康増進に向けた体制整備等をアドバイスしていくことです。

これを聞いて私は違和感を覚えました。「労働安全衛生コンサルタントも同じ役割を担う立場ではないか？私たちを活用しようとする動きが見られないのは何故だろうか？」
健康経営推進に関する国の資料では、「産業医や保健師や医師に情報が伝わっていない、専門家の意識改革を進めていく必要がある」という指摘と「健康経営に積極的に関わって貰いたい」という期待が述べられています。私たちは求められています！しかし、私たちの思いも行



政や関係者にうまく伝わっていない、と言えそうです。「健康とは何か」について、WHOの定義はピンとこない。他の表現を探してみると、「たとえ病気や障がいを持っていてもイキイキと生きている、生きようとしている状態(順天堂大学 島内憲夫先生)」というのが私には心に響きます。最近「健康」という言葉も使われず、これは、日本人の人生満足度が戦後全く変化していない(図表「1」)事とも関連して、医学的健康の枠にとどまらず人生満足度の向上をゴールに据えてその人らしい健康を目指していこうという考えの表れです。



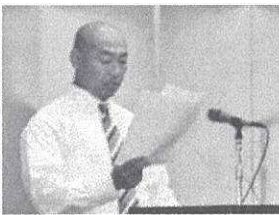
健康で生きるためには、マイナス要因を減らすことと、元気になる力を獲得することが大切です。病気の軸のキーワードは「病気、検査データ、心身の症状」、元気の軸のキーワードは「生きがい、自己表現、人間関係、ゆとり、生き方」等です。産業保健活動の中でも、元気を増やすことが健康や生産性向上に寄与するというエビデンスのもと、元気増やしが重要視され取組も広がっています。

事業主の方々は、ストレスチェック義務化を前にお話を伺う機会が増えていますが、「病気減らし」「元気増やし」両方のニーズを感じ取ることが出来ます。社員にはいきいきと働いて欲しいという願いはもちろんのこと、それが事故防止や生産性向上に繋がると感じているからこそ「元気増やし」も経営戦略として取組みたいと考えておられるようです。

健康経営の視点で見ると、病気と元気の両方を見ると「健康の専門家」が求められているように思います。病気を知ったうえで更に健康が語れるというのは私たちの大きな強みです。今後も健康経営のお役に立てるよう努めて参りたいと思います。

- 支部トピックス
- ◆新潟支部第23回定時総会
- 平成27年6月3日、ホテルラングウッド新潟にて開催され、平成27年度の事業計画の採択が行われました。
- 【平成27年度事業計画】
- 行政機関への協力及びコミュニケーションの強化
 - 平成27年度労働安全衛生行政「第12次労働災害防止計画」に積極的に協力する。
 - 局健康安全課及び署安全衛生課(監督・安衛課)とのコミュニケーションを強化する。
 - 生涯研修制度の推進
 - 業務部会加入の促進を図る
 - 業務活動の推進
 - 平成27年度全国安全週間・衛生週間に協力し、労働安全・衛生コンサルタントの活用を促進する
 - 新潟支部独自施策として、安全衛生相談センターを開設し、労働安全衛生に関する無料相談を実施する
 - 支部ホームページ等で本活動の広報に努め、労働安全・衛生コンサルタントの活用を促進する
 - 各種災害防止団体との連携を強化する
 - 新潟産業保健推進連絡事務所および地域産業保健センター事業活動に協力し、労働衛生コンサルタント業務を開拓する
 - 労働安全衛生マネジメン

- トシステムの普及に関し、コンサルタント活動を通じて推進する。
- 労働安全・衛生コンサルタント表示を実施する
- 第21回(平成27年度)労働安全衛生コンサルタント制度推進月間行事の組織的展開
 - 労働安全衛生コンサルタント制度推進月間実施要領による支部活動を展開する
- 業務研修会の開催と出席会員数の増大
 - 26年度第2回 12月6日
テーマ：外国人技能実習生の労働災害等について
講師：会員 鈴木誠
 - 27年度第1回6月3日
①第一部 新潟支部生涯研修制度称号獲得状況と足場特別教育概要の説明及び新潟市における建設業安全管理工事評定について
講師：会員 鈴木誠



②第二部 平成27年度の労働安全衛生施策について
講師：新潟労働局労働基準部健康安全課長 吉岡健一様



3. 第2回 12月4日(予定)
七. 広報活動の展開
八. 理事・業務部会の開催

1. 平成27年度第1回(4月11日)
2. 平成27年度第2回(12月日未定)
3. 平成28年度第1回(4月日未定)

◆プロック会議

北関東・甲信越プロック会議が平成26年10月5日、長野県長野市で開催された。当支部より横田清士副支部長、鈴木弥寿春事務局長が出席。

◆会員異動

1. 本会退会
中平浩人(衛生)
2. 本会入会
橋田國男(安全)
3. 支部業務部会退会
中平浩人(衛生)

◆安全衛生相談センター活動

1. 行政、民間その他からの講師派遣依頼
- ①新潟職業能力開発短期大学校「安全衛生工学」学科の講師 26年4月～9月 但田
- ②新潟労働基準監督署「食料品製造業における労働災害防止研修会の内(リスクアセスメント)の導入と手法について」 11月10日 但田
- ③えちご上越農業協同組合 農作業安全管理者養成研修会(安衛法の概要と安全対策) 12月9日 横田
2. 行政指導事項に対する現地立会及び改善指導等
- ①12月19日 化学製品製造業「有機溶剤使用に伴う局所排気装置等の設置について」
- ②11月～3月 機械器具等製造会社での災害発生後の再発防止と改善対策

◆リスクアセスメント担当者養成研修事業

- ①長岡署 中越興業安全協力会 10月7日 但田、11月21日 但田、内山
- ②新潟署 豊栄工業団地協同組合 11月6日 豊島、12月4日 豊島

◆受動喫煙対策講習会

- 7月23日 新潟労働基準協会 講師派遣 鈴木(弥)
- 9月10日 佐渡労働基準協会 講師派遣 五十嵐
- 11月19日 主催講習会 新潟アルサ 五十嵐

◆第三次産業労働災害防止支援事業

- ①小売業 支援事業 但田他
1. 個別コンサルティング 但田、横田、鈴木(誠)、田村、内納、阿部、鈴木(武)、内山、相田
- ②飲食業支援事業 但田他
1. 個別コンサルティング 但田、藤巻、鈴木(誠)、鈴木(武)、阿部、内山

◆陸防災 講師紹介

但田、鈴木(誠)、鈴木(武)、

内山、高橋(則)

◆衛生管理者研修会で無料相談センター開設
担当：鈴木(直)

◆その他の講師派遣

- ①JITCO安全アドバイザー 鈴木(誠)
- ②栗山米菓 職長教育 6月6日、13日 鈴木(武)、但田、鈴木(誠)、阿部、内山
- ③大和リース(新潟) 安全大会 6月13日 内山
- ④トピアホーム(南魚沼) 安全大会 6月20日 但田
- ⑤新潟日立協力会 安全大会 6月24日 阿部
- ⑥藤田内装建築(小千谷) 安全大会 6月28日 但田
- ⑦NEXCOサポート 安全大会 11月20日(新潟) 豊島
- ⑧ビルメン清掃指導員教育の安全衛生科目の講師 11月17日 新潟 但田
- 11月18日 長岡 但田
- ⑨見附市教育委員会 安全大会 鈴木(直)

編集後記

産業保健研究会の幹事をさせて頂いています。6月の研修会では大野裕先生(独)国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター所長)より認知行動療法の講義と演習がありました。ストレスチェック制度義務化とも関連してか、会場いっぱい参加者で、関心の高さが伺えました。

この後も大きなイベントが続きます。皆様是非一度おいでになってみてください。



- ◆10月24日、25日 日本産業衛生学会第58回北陸甲信越地方会総会 新潟県医師会館
- 「ストレスチェック解析結果に基づく面接指導及び職場改善の進め方」他
- ◆12月5日 日本産業衛生学会中小企業安全衛生研究会第49回全国集会 新潟県医師会館
- シンポジウム「産業保健総合支援センターと中小企業の産業保健活動」他